

病院の概要

名称	愛媛医療生活協同組合 愛媛生協病院
所在地	〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1091-1
病床数	88 床 一般病棟:44 床、地域包括ケア病棟:44 床
診療科	内科(消化器内科・循環器内科・呼吸器内科)、外科・大腸肛門科、小児科・アレルギー科、 整形外科(リハビリテーション科・リウマチ科)、精神科・心療内科 その他 在宅医療、各種健康診断
医師数	常勤：13 名、非常勤：23 名
年間入院数	1658 件 [令和元年度入院患者件数]
外来患者数	256.3 人 [令和元年度外来一日平均患者数]
機関指定等	愛媛県救急告示病院



愛媛生協病院は、NPO法人 卒後臨床研修評価機構より、2009年2月1日に認定を受けました。
受審は全国で57番目、愛媛県内で初めての認定となりました。



ISO9001:2015 認証取得
私たちの職場は、地域の組合員が出資・運営・利用する病院・診療所・事業所です。
私たちは組合員・地域住民とともに「健康・安心・協同のまちづくり」をすすめる視点から、医療・福祉活動をすすめます。また、無差別平等の医療を追求し、ノーマライゼーションを実現できる地域社会づくりをめざします。

奨学金制度

愛媛医療生協・愛媛民医連は学生生活への援助とともに有意義な学生生活を支援します。
魅力ある医療人として私たちの医療活動に参加していただく制度です。

目的	卒業後、愛媛医療生協・愛媛民医連の医療活動へ参加しようとする医学生の勉学にあたり、経済的援助を行うことを目的としています。
応募資格	医学部医学科に在学中の方 医学部医学科への入学が決定している方
給付期間	申請した月から最短修業年限の終期まで
支給額	Aコース:1・2年生 月額5万円/3・4年生 月額6万円/5・6年生 月額7万円 Bコース:全学年月額10万円
返済免除	卒業後、愛媛医療生協・愛媛民医連の事業所で、指定期間勤務した場合、返済が免除されます。 Aコース:奨学金支給期間と同期間 Bコース:支給期間の1.5倍の期間 万一、事情により就職できない場合、または免除期間途中で退職した場合は、支給期間に応じた返済義務が生じます。また、返済時は2%の利息をつけて返済していただきます。
その他	・奨学生は、日本育英会その他類似の奨学金を併せて受給することができます。 ・奨学生は、定期的に開催される奨学生会議に参加します。 ・奨学生は、在学中に実習やさまざまな地域での体験を通じて、仲間と交流し医療生協や民医連の医療について学びます。 ・県外の方は交通費実費支給いたします。



初 期 研 修 に つ い て の お 問 い 合 わ せ は 下 記 ま で

TEL 089-976-7001
FAX 089-976-7029

愛 媛 生 協 病 院 検 索

<http://www.e-seikyo-hp.jp>



暮らしとともに

地 域 を 支 え る

医 療 を 学 ぶ



厚生労働省指定臨床研修病院

愛 媛 生 協 病 院

初 期 研 修 パ ン フ レ ッ ト



愛媛民主医療機関連合会



愛媛医療生活協同組合



心と心をあわせる医療を

あなたと心を合わせるということ。
私たち愛媛生協病院の初期研修は、まずそこからはじまります。

地域社会に根ざした医療を提供し続ける私たちにとって大切なことは、
患者さんの症状や患部を診るだけではなく、
抱えている思いや、生活背景、人生模様を理解し、
患者さん一人ひとりに心を寄せるということです。
そのためには、医師の一人ひとり、スタッフの一人ひとりが、
患者さん一人ひとりと真正面から向かい合い、
互いに心を合わせて医療に臨むということを忘れてはなりません。
だからこそ私たちは、初期研修医の一人ひとりとまず向き合い、

しっかりと心と心を合わせて、
愛媛生協病院の医師としての精神を共有していきます。

地域の健康を守る私たち愛媛生協病院の使命です。



いつでも、どこでも、誰もが、安心して受けられる地域医療を。

私たちの愛媛生協病院のルーツは、1952年に開設された小さな診療所です。
1952年9月、愛媛県新居浜市で、医療保険を持たない日雇い労働者、商人、農民、市民、在日朝鮮人の人達などが中心になり、医療生協の設立準備をしながら、民家の一部を借りて診療所を開設しました。
その後1960年には、松山市で自営業者のくらしと営業を守る運動、生活と健康を守る会の運動の中で診療所を開設しました。
伊予市では1965年に、中小企業労働者や、生活困窮者の人達が中心となり、人家を間借りして、診療所を開設しました。
この三つの診療所では、地域社会の誰もが差別の無い安心の医療を目指し、新居浜では協立病院に発展しました。中予診療所、伊予診療所も有床化を実現しました。
1981年4月に松山・新居浜・伊予の医療生協が合併し愛媛医療生協が設立しました。その後中予診療所は愛媛生協病院と名称を変え、愛媛県における医療の一端を担う責務を果たすため、医師、医療スタッフの充実を図り、施設の拡充、医療生協組合員の拡大を着実に進めてまいりました。愛媛医療生協では患者と共に振動病やじん肺などの労災認定に尽力するなど、働く人に寄り添う医療も展開しました。
私たち愛媛生協病院は、これからも発足当時の理念を忘れずに「いつでも、どこでも、誰もが、安心して受けられる地域医療」を追求してまいります。



愛媛生協病院(2013年リニューアル)

研修管理委員長より



愛媛生協病院は88床の小病院ですが、無差別・平等で「いつでも、どこでも安心して医療が受けられる」病院を目指して、内科・家庭医療科、外科、整形外科、小児科、精神科・心療内科の常勤医を有し、松山市の二次救急輪番病院として急性期医療も担いながら、こころと身体を総合的に診る医療を行っています。2016年9月からは44床の地域包括ケア病棟も運用し在宅復帰に向けてのリハビリと相談活動を強化しています。また当院は医療生協が運営しており、地域の組合員さんとともにまちづくりや健診活動や予防活動を行っているのが他の病院にはない魅力となっています。2009年からは卒後臨床研修評価機構の認定も受け、現在も複数名の初期研修医が地域に根ざした医療・福祉活動を学んでいます。地域とともに総合的に成長したいと望まれる方々の参加を期待します。

院長
精神科・心療内科部長 今村 高暢 医師

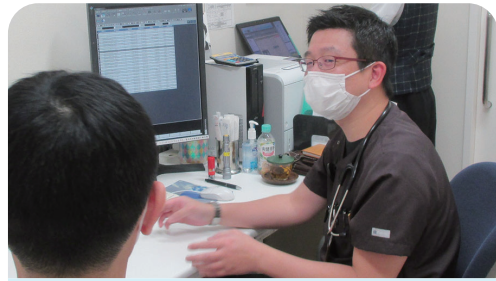
プログラム責任者より



指導医・上級医のもとで「担当医」として、1つの科に偏らず研修できるすべての科で診療にあたる総合基礎研修を基盤にしています。患者さんの生活背景やライフスパンに沿った医療を病棟・外来等を通じて実際に体験し、地域での第一線医療機関の役割と機能を認識してもらいます。研修医の要望や意見は研修医会で提起・議論され、月2回の医局会議に反映され、より良い研修環境につながっています。
研修評価には、自己評価・指導医評価・研修関連部署評価の他に、担当支部の組合員さんからの評価も取り入れられます。
医師をはじめとした病院スタッフや地域の組合員さんの力をお借りして、基本的臨床能力と主治医機能と生涯学習の基礎を身につけられる研修をお約束します。

外科部長 塚本 尚文 医師

総合基礎研修プログラム



内科

研修のスタートに、オリエンテーションと合わせ6ヶ月行います。患者さんのもとに足を運び、丁寧な身体診察を行い、よく考え、治療方針を考えます。振り返りの場を持ち、きめの細かい指導をします。



整形外科

外傷からスポーツ障害、慢性疾患など、幅広く診察を行います。手術は外傷や変性疾患など、多岐に渡り、年間300件超の手術を行っています。指導医とのカンファレンスを通し、疾患の学習、治療方針の決定にかかわります。



外科

指導医のもとで、手術・創処置を行います。急性腹症にかかわり、画像読影の力をつけ、担当医として治療方針を考え、病状説明を行います。手術では、指導医と共に手術助手を経験します。当院では消化器内視鏡も経験できます。



救急研修

8日毎の輪番体制で2次救急を担っており、前年度の救急件数は5100件、救急車取扱件数は1138件でした。指導医とともにファーストタッチに関わり、重症症例を見逃さない診断力を身に付けていきます。



小児科

指導医と対面式の外来研修です。実際に小児患者を診察して、診断・治療を立案し、その都度、指導医のフィードバックを受けます。小児処置の技術を習得し、小児のプライマリケアに必要な実践的な研修ができます。



在宅医療

自宅・施設へ訪問診療を行っています。高齢者から終末期の患者さんなど、よりよい在宅医療とは何かを考え、提供できるよう、介護サービスなどを含めた対応を学びます。

研修施設・連携病院紹介

すべての病院・施設が研修を快く受け入れています!研修先での宿泊費は病院が負担します。

<協力型臨床研修病院>

- 1 独立行政法人 労働者健康福祉機構 愛媛労災病院[産婦人科]
- 2 財団法人真光会 真光園[精神科]
- 3 香川医療生活協同組合 高松平和病院[小児科]
- 4 愛媛医療生活協同組合 新居浜協立病院[地域医療]
- 5 愛媛大学医学部附属病院[自由選択]

<臨床研修協力施設>

- 6 愛媛医療生活協同組合 伊予診療所[地域医療]
- 7 松山市保健所[自由選択]
- 8 香川医療生活協同組合 へいわこどもクリニック[小児科]
- 9 愛媛医療生活協同組合 訪問看護ステーションたんぼぼ [オリエンテーション]



精神科・心療内科

一般病院の外来診療、身体疾患で入院している患者さんの精神症状(せん妄など)の治療に関わります。依存症治療、精神科訪問看護、デイケアを経験します。外部研修では急性期の精神疾患の入院治療に関わります。



地域医療(外部研修)

診療圏を意識し、地域を捉え、療養型病院や診療所の役割を理解することを目標とします。患者に寄り添う医療を体感できます。



産婦人科(外部研修)

多くの分娩に立ち会うことができます。婦人科では怖がらずに内診できることを目標に、子宮頸癌・体癌の検査にかかわり、多くの手術を経験できます。



健康づくりプログラム

医療生活協同組合の病院であり、地域組合員さんとともに健康づくりに取り組みます。月に一回を目安に地域に直接でかけ、地域の方々の生活背景や患者さんの抱える問題等を学びます。HPHに加盟しています。



民医連の研修

民主医療機関連合会(以下、民医連)に加盟しています。中国四国の研修医と定期的な交流の場があり、経験や学びを共有しています。全国規模の交流会もあります。

当院の研修の特徴

- 少人数制で、丁寧な指導の下でさまざまな手技や症例にかかわることができます。
- 診療所から大学病院までの幅広いフィールドがあります。
- 屋根瓦式指導で、多職種が関わり、研修医を育てます。
- 症例数をこなすことではなく、一人の患者さんを丁寧に見つめ、考え、問題点を見極める力を身に付けることを重視しています。
- 医局は全科共有で、各科・指導医間の垣根は低く、いつでも指導、相談できる環境です。

初期研修プログラム(例)

4月~							
1 年次	4W	24W	8W	4W	4W	4W	4W
	オリエンテーション	内科	整形外科	小児科	小児科 高松平和病院 へいわこども クリニック	精神科	精神科 真光園

<必修研修科目>

・内科(24週)・救急部門(12週)・地域医療(8-4週)・外科(8-4週)・小児科(8-4週)・産婦人科(8-4週)・精神科(8-4週)

<当院指定の必修科目>

・整形外科(8-4 週) ※外来研修は内科、小児科、地域医療研修中に合計4 週間以上行います。※地域医療は伊予診療所または新居浜協立病院の選択となります。

4月~

2 年次	8W	8W	8W	12W	16W
	外科	地域医療 伊予診療所 新居浜協立病院	産婦人科 愛媛労災病院	救急	自由選択

<選択科目>

自由選択(16-42 週):内科、外科、小児科、精神科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、総合診療科



水本 潤希先生
家庭医療専攻医
東京大学/2015年卒

川崎 美智子先生
初期研修医 2年次
オラデア大学(ルーマニア)
2012年卒

吉田 あすか先生
初期研修医 1年次
愛媛大学/2019年卒



初期研修医 座談会

Discussion

愛媛生協病院の初期研修の「ホンネ」を聞きました。

一愛媛生協病院の初期研修で印象的だったことは。

吉田：生活面などで困っている患者さんを担当したことです。治療を考えるだけでなく、実際にご自宅へ訪問して患者さんの背景を知り、その上で病気にアプローチしたことが、とても良い経験でした。

水本：病棟は患者さんの普段の生活から切り離された環境になりますので、そういう機会は本当に勉強になりますね。

川崎：私も当院の研修の特徴は、生活の背景を見据えて患者さんをマネジメントしていく点だと思います。入院時の急性期対応で終わりではなく、退院後も外来で担当医として継続してフォローできたこともよかったです。
また、当院が力を入れているのが「外来」です。特に、小児科の外来研修では多い日は1日60~80人ほどの患者さんを診て経験を積むことが、とても画期的だと思います。

水本：小児科では主要な小児科疾患を外来メインで沢山学ぶことができますね。

吉田：当院では研修の最初に「多職種研修」があります。看護師さんや薬剤師さんなど、医師以外のさまざまな職種を体験するのですが、それが大変勉強になりました。それぞれの立場を理解し、医師の指示の出し方などに対しての要望や意見を伺えたことが、今後仕事をしていく上で大変役に立ちました。

川崎：実際の現場でも、看護師さんから患者さんのことを教えていただくこともあります。検査技師さんや薬剤師さんなどへの相談も、丁寧に対応していただきます。最初に多職種研修をして、良い関係をつくることは大切だと思います。

水本：病院全体が「あなたを育てます」という対応をしてくださるのは、小さい病院だからできる研修ですね。



一 当院の特徴である組合員さん※1との交流について。

吉田：組合員さんの集会や健康チェックに参加しています。病院を支えてくれる組合員さんたちが、何に関心を持ち、今何が心配なのか、地域におけるニーズはどういったものなのか…など、直接お話を伺うことができます。

水本：健康な方に会うことはとても大事ですね。病院の中にいると、高齢の方々に病弱なイメージを持ちがちです。地域に出て、元気な高齢の方々の考え方や生活スタイルを知るの、大変勉強になります。これは、病院の中だけでは感じる事ができないことですね。

川崎：組合員さんと地域の皆さんが一生涯応援してくださって、私たち研修医を育ててくださることをとてもありがたく感じます。

一 大病院の研修内容と比較して愛媛生協病院の研修の魅力は何ですか？

吉田：難しい病気や症例については、専門の基幹病院に紹介することもあります。その患者さんが最初に受診されるのは当院のような小さい病院です。

愛媛生協病院 メディカルフィットネスCore

コ・コアは、連携している医療機関の医学的指導のもと、安全で安心な運動指導を行い、地域の健康づくりに貢献しています。

- 併設する医療機関の特徴を活かし、専門的で総合的な疾病予防と治療の効果を高めるメニューを提供します。
- 様々なご要望にお応えする多彩なスタジオエクササイズを提供します。
- 安全・安心な運動空間を提供します。
- 医療生協がとりくむ、地域の体操教室と連携し、地域の健康づくりに寄与します。



患者さんの症状をしっかりと聞き取り、身体所見をふまえて診断へつなげていく過程を経験できます。

水本：地域の第一線の医療を担っている当院だからこそ経験できることですね。

川崎：専門的な治療や高度な医療を経験したい場合は、連携している愛媛大学医学部附属病院で研修できます。実際の患者さんの大多数は一般的な疾患で困っているのが実情です。専門的な医療へ進む前に、一般的な疾患の経験を積むことは重要なことだと考えています。

一 他の病院の研修医との交流について。

川崎：小さな病院で研修していると、自分の研修内容や進捗状況に不安を感じることもあります。民医連の病院間で月に1回「環瀬戸内カンファレンス」を開催しています。中四国の病院から研修医たちが集まり、同期とともに勉強し、相談できる良い機会です。

吉田：2年間の研修期間を通じて参加するため、回を重ねるごとにみんなが顔見知りになります。症例発表は良い情報共有となり、良い刺激をもらいます。発表の練習になる面もよいところです。

一 研修中、うれしかったことは。

川崎：救急車で来て、ずっと「しんどい、しんどい」と言っていた患者さんが、良くなって、元気になって帰っていくことは、すごくうれしいです。

吉田：患者さんが元気になることは勿論ですが、頭痛などざっくりとした主訴から、適切に検査を重ね、診断をつけ、治療に結びつけられた時がうれしかったです。

水本：「自分で考える」、当院が一番大切にしていることですね。

一 研修中、大変だったことは。

川崎：家庭との両立です。子供はまだ小さく、母親・妻としての自分の生活と、医師としてのプロフェッショナルリズムとの葛藤を感じます。

水本：何か病院からのサポートはありましたか？

川崎：院内保育所を利用しました。子供が病気の時には院内病児保育で見ていただきました。当院は育児中の医師でも働きやすい環境を整備されています。指導医の先生方は時間内に業務が終わるようにサポートしていただきます。仕事と家庭を両立するための相談にも乗っていただいています。

一 医学生へのメッセージ。

吉田：研修医になり医療の世界は広くて楽しいものだ実感しています。医学部での勉強は病気そのものの知識が中心です。勿論それも大事ですが、実際の患者さんは病気だけでなく、様々な背景を含めて困っていらつやる。学んだ医学を実際には患者さんの事情で適用できないなど、一筋縄ではいかないことが沢山あります。そこに面白さを見出すことが、この仕事の良いところだと思います。

川崎：医師という仕事は、人の間で、人と人をつなぐ仕事かなと感じています。患者さんの治療をするにしても、医療スタッフは勿論、患者家族や介護施設の方々など、様々な人と一緒に患者さんを支えていくという仕事なのです。まずは、学生時代には色々な経験をして、多角的視点で考えるということこそ是非やっていただけたらと思います。

※1 組合員…愛媛医療生協組合に加入している方のこと。



環瀬戸内カンファレンス



全都道府県の民医連と連携をしています。特に中国四国の民医連に所属する臨床研修病院は年に何度も集まっています。その中でも毎月1回研修医が集まって行なう「環瀬戸内カンファレンス」では、指導医から患者さんのベッドサイドで身体診察のレクチャーを受けたり、各研修医が持ち寄った症例で検討会をします。1~2年目の研修医同士で刺激を受け合い、夜は交流会で懇親を深めます。毎月違う病院に出向くため、仲間が研修している病院の様子もわかります。

院内保育所、病児・病後児保育所を設置



院内保育所(にこにこ)は、当院の職員の子どもさんを対象に院内に設置しました。子育てを応援しながら、長く勤務していただくために、職員が何より勤務先内での保育で安心して勤務ができるよう環境を整えています。病児・病後児保育(わたぼうし)は、保護者の就労等の理由により、病期中のお子さん(小学6年生まで)を家庭で保育できない場合に、一時的にお預かりしています。

サークル活動

フットサルサークル

フットサルは対戦リーグに登録するレベルでなく、気持ちのいい汗を流すことを目的としています。月に1回、郊外のフットサルコートに集まって2時間程、試合形式で行っています。男女混合チームで職員の子どもも参加しており、みんなで楽しい時間を過ごしています。



野球サークル

医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフなど、様々な職種が参加しています。自分も含めて野球未経験者がほとんどで、みんな楽しく練習しています。他の病院との練習試合が組まれることも多く、練習の成果を発揮できます。一緒に汗を流すことで、普段の仕事でも何でもお願いすることができ、働きやすい職場になっていると感じています。



初期研修を終えて



内科家庭医療科
藤原 匠平 医師
(愛媛大学2014卒)

小さな病院での研修は患者さんとの距離が身近に感じられます。一緒に生活の変化で起こった困り事の対処をしたり、多職種と共に支え合って感謝することが増えたりします。その中で医師は、なんでも相談を受け「患者さんの全身を診る」ことが求められます。患者さんご家族の不安や希望といった“想い”に寄り添う視点を身につけられる環境だと思います。

初期研修医待遇

雇用形態：常勤医師として採用
給与：1年次/352,600円 2年次/399,600円
※別途、各種手当
休暇：4週6休、リフレッシュ休暇4日、年末年始5日、有給休暇、生理休暇、慶弔休暇、育児休暇
その他：年2回の学会参加費用補助(年間20万円を上限)、医療費還付制度

専門医研修：・日本専門医機構認定総合診療専門研修病院
・日本プライマリケア連合学会認定新家庭医療後期研修病院
・日本整形外科学会専門医研修施設
・日本精神神経学会専門医研修施設